

メキシコ金融政策（2019年9月）

メキシコ銀行は0.25%ポイントの利下げを実施

2019年9月27日

メキシコ銀行は2会合連続の利下げ

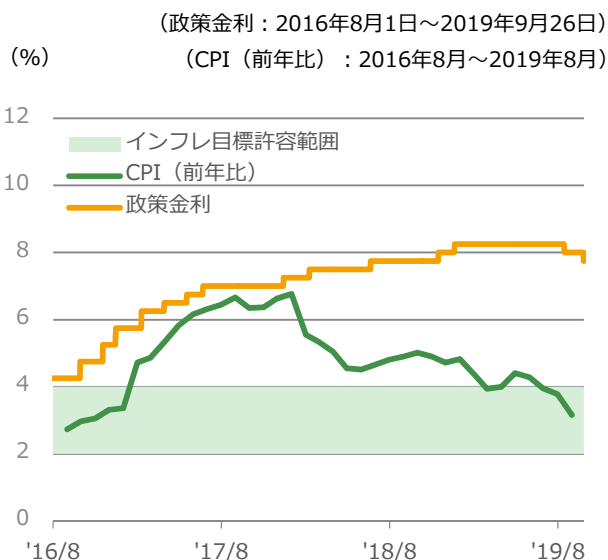
メキシコ銀行（中央銀行）は9月26日（現地、以下同様）、政策金利を0.25%ポイント引き下げ、7.75%とすることを決定しました。利下げは8月に続いて2会合連続であり、市場では利下げはほぼ予想されていました。また、理事会メンバーの5人のうち2人が0.50%ポイントの引き下げを支持しました。

メキシコ銀行は声明文で、前回同様に世界経済の減速懸念が強まってきたことや複数の中央銀行が金融緩和に傾いていることなどに言及し、メキシコ経済の先行きに慎重な見方を示しました。メキシコ銀行の政策金利は米国に追随する傾向があり、今回の利下げも9月18日のFOMC（米国連邦公開市場委員会）で利下げを実施したことに追随した動きと考えられます。また、インフレ率の低下が続いており、メキシコ銀行の目標範囲に収束してきたことも、利下げを行った背景となりました。

金融政策の先行きについて、メキシコ銀行はインフレなどの状況を注視しつつ、必要な措置をとっています。メキシコ銀行が経済の先行きに慎重な見方を示していることや米国の追加利下げ期待などを勘案すると、メキシコ銀行が今後追加利下げを実施する可能性は高いと考えています。

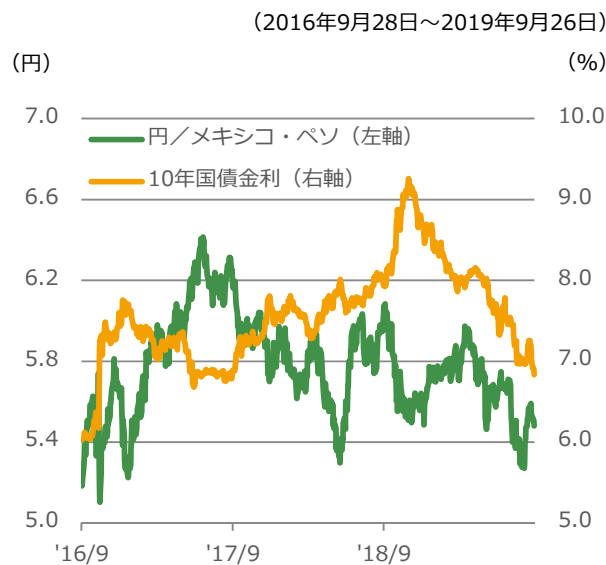
為替市場に関しては、米中貿易問題などによる円高リスクには引き続き注意を要するものの、世界的な金融緩和環境の強まりは世界経済を下支えするとともに、新興国通貨の追い風になるとみえています。外部環境に落ち着きが見られれば、相対的に金利の高い新興国市場への資金流入が期待され、メキシコ・ペソの上昇を後押しすると考えています。

政策金利と消費者物価指数（CPI）の推移



（出所）ブルームバーグ、メキシコ銀行

為替と国債金利の推移



（出所）ブルームバーグ

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。

この資料は情報提供を目的として作成したものであり、特定の商品の投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資判断の最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。

金融商品取引法に基づきお客様にご留意いただきたい事項を以下に記載させていただきます。

むさし証券の概要

商号等：むさし証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第105号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

リスクについて

国内外の金融商品取引所に上場されている有価証券(上場有価証券等)の売買等に当たっては、株式相場、金利水準等の変動や、投資信託、投資証券、受益証券発行信託の受益証券等の裏付けとなっている株式、債券、投資信託、不動産、商品等(裏付け資産)の価格や評価額の変動に伴い、上場有価証券等の価格等が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 上場有価証券等の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合や、裏付け資産の発行者等の業務や財産の状況等に変化が生じた場合、上場有価証券等の価格が変動することによって損失が生じるおそれがあります。

◎ 新株予約権、取得請求権等が付された上場有価証券等については、これらの権利を行使できる期間に制限がありますのでご注意ください。

◎ 上場有価証券等が外国証券である場合、為替相場(円貨と外貨の交換比率)が変化することにより、為替相場が円高になる過程では外国証券を円貨換算した価値は下落し、逆に円安になる過程では外国証券を円貨換算した価値は上昇することになります。したがって、為替相場の状況によっては為替差損が生じるおそれがあります。

※ 裏付け資産が、投資信託、投資証券、預託証券、受益証券発行信託の受益証券等である場合には、その最終的な裏付け資産を含みます。

※ 新規公開株式、新規公開の投資証券及び非上場債券等についても、上記と同様のリスクがあります。

手数料等諸費用について

当社取り扱いの商品等にご投資いただく場合

各商品毎の所定の手数料をご負担いただく場合がありますが、商品毎に異なるため、ここでは表示することができません。

また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

投資信託につきましては、手数料の他、信託報酬等・その他の費用(監査費用、運営・管理費用等)等を御負担いただきますが、これらの費用等は、事前に計算できませんので表示しておりません。

当該商品等の契約締結前交付書面や目論見書またはお客さま向け資料等をよくお読みください。

【広告審査済】